



上田薬剤師会 発

薬剤師の

ちょっと薬に立つお話

YAKUNI
TATSU
OHANASHI
VOL.137

Vol.137

地域の皆さんの健康のために
さまざまな活動をしている
上田薬剤師会から、
健やかな毎日をつくるために
ちょっと役立つお話を
お届けしていきます。

毎月「第2土曜日」の
週刊うえだを、どうぞお楽しみに!

TOPICS

子宮頸がん予防のための

「ヒトパピローマウイルス(HPV)」 ワクチン接種のご案内

該当者は3月末までに1回目の接種を!

ヒトパピローマウイルス(HPV)は、性的接触のある女性であれば50%以上が生涯に一度は感染するとされる、ありふれたウイルスですが、子宮頸がんをはじめ、肛門がん、膣がん等、多くの病気の発生に関わっています。特に、**近年若い女性に子宮頸がんの罹患が増えています。**

HPV感染症を防ぐワクチン(HPVワクチン)は、小学校6年~高校1年相当の女子を対象に定期接種(一定の間隔をあけて、同じワクチンを合計2回または3回接種)が行われています。平成25(2013)年6月から一時的に積極的な勧奨を差し控えていましたが、専門家の評価によって、令和4(2022)年4月からは**国が、他の定期接種と同様に接種を勧奨**しています。

**平成9(1997)年4月2日~平成21(2009)年4月1日
生まれで、過去にHPVワクチンの接種を合計3回受けて
いない女性は、令和7(2025)年3月末までに1回でも接種
すれば、全3回の接種
を公費で完了するこ
とができます。**

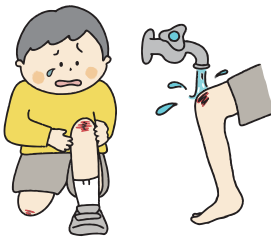
いつ、どこで、どのよう
に受けられるかなどにつ
いては、市町村の予防接
種の担当課にお問い合わせ
ください。



はい、お答えします!

Q. ケガをした時の対処法が昔と違うようなので
教えてください。傷口はかさぶたにしない方が
よいのですか? (東御市60代女性)

A. 通常の浅い傷口を覆っているかさぶたは、新しい皮膚が
できるのを阻害している場合があります。また、かさぶた
には傷口を化膿しやすくさせる特
徴もあります。傷口は流水で十分
に洗い、消毒は控えつつ、かさぶ
たをつくらないう、傷を乾かさ
ないようにしましょう。詳しくは、
かかりつけ薬剤師・薬局でお尋ね
ください。



このコーナーでは毎月、
読者の方からの質問に薬剤師がお答えします。
お薬に対する素朴な疑問、質問、なんでもお寄せください。

宛先

〒386-0012 上田市中央6-3-41
週刊うえだ「はい、お答えします!」係
メール info@weekly-ueda.com
FAX 0268-22-6201



▲上田薬剤師会「認定基準薬局」の目印、グリーンクロス看板

健康・お薬に関するお悩みごと・お困りごとは「かかりつけ薬剤師・薬局」に、お気軽にご相談ください!

今月の特集

気になる季節です!

お肌の保湿剤

節分も過ぎ、寒さもそろそろ折り返しに向かうころで
すね。冬は湿度の低い空気と暖房の効いた部屋のおか
げで、お肌の乾燥に悩む人も多いでしょう。薬剤師の片
田哲章さんに、保湿剤の使用法について聞きました。



保湿に使われる主な成分

1 ヘパリン類似物質

乾燥による皮膚トラブルの治療薬として医療現場で広く使用されている保湿剤です。人の体内で生成される「ヘパリン」に似た化学構造をもつため、ヘパリン「類似物質」と呼ばれます。水に溶けやすい・水に混ざりやすいといった「親水性」があり、水分子を引き寄せて保持する「保水性」があるため、高い保湿力が期待できます。

2 尿素

尿素といっても「におい」はありません。尿素10%配合のものは保湿剤として使用します。20%配合のものは角質を柔らかくする効果があるので、ガサガサする「かかと」などに使用しますが、15歳未満は使用できません。

3 ワセリン

成分的な薬効はありませんが、油由来のため水分の蒸発を防ぐので保湿になります。精製の度合いにより色が変わり、不純物が少ないほど色が白くなります。

そのほか、医療用ではなく化粧品の部類になりますが「セラミド」や「ヒアルロン酸」なども保湿剤の成分として使われています。

[塗り薬のタイプ]

用途や
好みに応じて

軟膏

ほかのタイプと比べて刺激が少ないので、肌の弱い人にも使えるうえ、保護作用が強いのが軟膏です。湿った患部から乾燥した患部まで、さまざまな状態の患部に使用できます。

クリーム

手に塗ると指紋が付くようなべたべたした軟膏が苦手な人にはクリームがおすすめです。クリームの中にも、効果が高い油性、持続性は弱くなるもののさっぱり塗れる水性があります。

ローション

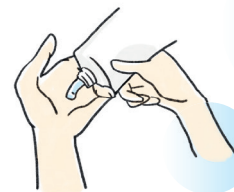
液体に薬を混ぜたもので、さっぱりと塗ることができます。手の届きにくい背中などにはスプレータイプが便利です。



塗る量と回数

塗った箇所にティッシュをくっつけて落ちないくらいがちょうどよいでしょう。薄くのばし過ぎるのもよくないです。

入浴後は皮膚から水分が蒸発して乾燥しやすいので、30分以内くらいに保湿剤を塗るのがおすすめです。足などは1日2回程度、手は頻繁に塗りなおしてもいいでしょう。



薬と保湿剤、どちらを先に塗る?

かゆみ止めなど皮膚に塗る薬が他にある場合は、「**広範囲に塗るもの**」を先に塗ります。薬はその後、必要なところだけに後から塗ります。処方された薬は指示通りに塗ってください。

赤ちゃんの肌荒れに注意!

乳幼児のバリア機能が低下している場合、皮膚から微量の「食物アレルギー」が侵入し、それが食物アレルギー発症の原因の一つになると言われています。リスクを減らすためにも、赤ちゃんはしっかり保湿をしてあげましょう。肌荒れしている時は、医療機関を受診しましょう。

